

# 文教厚生常任委員会視察研修

平成26年8月25日(月)～26日(火)

研修先 熊本県阿蘇郡小国町、大分県津久見市

目的 社会福祉協議会事業実施状況・課題・行政との関わりについて

## 小国町社会福祉協議会

障がい者サポート事業施設(1)児童生徒を対象とした「障がい児入所サポートセンター」第1「悠愛」(2)成人を対象とした障がい者支援施設「サポートセンター第2「悠愛」」(3)障害福祉サービス事業「悠工房」などの施設見学と事業内容について研修を行った。児童生徒30名、大人40名の入所状況、デイサービス児童20名、生活介護24名、就労支援A、B型20名など幅広い障がい者に対する福祉サービス活動を展開されている。

介護サービス包括型として障がい者のグループホーム16箇所、69名の障がい者を抱えて事業がなされ、この事業に関わる世話人として、雇用創出が60数名にも及ぶ。

障がい者デイサービス事業など大木町が抱える課題にも参考になった。



## 津久見市社会福祉協議会

平成21年に介護事業をやめ、地区社会福祉活動一本に絞って取り組んだ。

地域の「見守り」「支えあい」等を通じて住民自らが主体的にかかわりを持ち、向こう三軒両隣の「絆」の再構築を図るため地区社会福祉協議会作りに職員が汗を流し、31地区の内27の行政区で立ち上げ、非常に効率的な福祉活動が出来ている。

区長・民生・児童委員、介護予防推進員が中心となり、社協、行政と連携を取りながら地域の生活課題の解決に向けた取組がなされている。また、市の中心部に「福祉ゾーン」として市民ふれあいセンターを建設され、福祉に関する様々な活動はセンターを拠点に実施されていた。きめの細かい地域住民に行き届いた福祉活動の取組は大木町においても参考になる研修となった。



## 大木町小中学校PTA連絡協議会と文教厚生常任委員会との懇談会を開催

平成26年10月24日(金)

大木町健康福祉センター視聴覚室で懇談会を開催しました。各小中学校より今年度の活動状況が紹介された後、児童・生徒の安全・安心の確保、及び学校施設等の課題について意見交換を行いました。

中学校では運動場の散水設備の設置、水泳授業での更衣室設置要望が出されました。大溝小学校では学校休日の地域公民館開放やこども110番の家を増加、木佐木小学校では地域とのコミュニケーション、通学路の安全確保等、大壳小学校では運動場芝生のメンテや通学路の安全確保等の要望が出ました。

子供達の教育環境を整えるよう今後もPTAの皆さんと懇談を深めながら計画・実行していきたいと思えます。



## 監査委員視察研修報告

平成26年8月19日(火)～20日(水)  
場所 大分県九重町及び日出町

九重町および日出町の監査委員と監査事務局において監査実務について意見交換を行いました。

大木町では集中的に2週間程度の期間で定期監査や決算監査を行っているが、両町では複数月に分けて定期監査が行われていた。伝統的な手法のようにしたが、指摘指導事項の実現のために時間がかかりすぎたまうのではないかと感じた。

日出町では専属の監査事務局が置かれており、充実した監査実務がされていると感じた。大木町においても監査の充実を図り、住民の皆さんの負担にこたえられる監査を目指しこれからも研鑽を深めてまいります。